

会 長 挨拶



2007-2008年度
三郷中央ロータリークラブ
会 長 宮田 博

図らずも会長に任命され、今年度1年間クラブ会員の皆様のご理解、ご協力を仰ぎながら頑張りたいと思います。

中村智英直前会長をはじめとする歴代パスト会長様たちのクラブ運営を継承し、単なる親睦の会ではない、ロータリー本来のクラブにして行きたいと思います。

前年度までの継続事業である「書き損じハガキの回収」や「青パト」への取り組みは、今年度も積極的に推し進め、さらなる発展をさせていきたいと思います。また、姉妹クラブである台湾の「台北博愛ロータリークラブ」との交流にも、今までと同じように力を注ぎたいと思います。幸いにも私の補佐をしてもらえる幹事にはパスト会長でありパストガバナー補佐であります田中欣一会員が就任してくれましたので、そのロータリーに関する豊富な知識を存分に発揮してもらえたいと思います。

また、今年度より我がクラブでも導入しました「CLP」(クラブ・リーダーシップ・プラン)により、更なるクラブの管理・充実を図ることができると思います。

私もこの5月に還暦を迎え、新たに生まれ変わった気で頑張ろうと思います。60歳は論語で言うところの「耳順」の年ですので、周りの皆様の意見に耳を傾け、ロータリーライフを楽しみ、また、奉仕することに喜びを見いだしながら、皆様と一緒により良いクラブにして行きたいと思います。

今年度のRIのテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。中村靖治地区ガバナーも挨拶の中で、奉仕に向けて熱意を持って楽しく続けて行く努力が大事であると、言われております。ロータリアンであるためにはロータリーの知識が必要であるとも言われております。その知識を実践しクラブ独自の特色を出しつつ、会員全員が意義あるクラブライフを送れるよう手助けができればと思います。

ロータリーを楽しみ、奉仕を楽しみ、ロータリアンとしての誇りを持ち、ロータリーの役割、存在意義を考え、充実したクラブライフを送りたいと思います。

この一年、よろしくお願いいたします。